

救急医学科に通院中の患者さん並びに家族さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は臨床倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 心肺停止患者に対する蘇生処置における脳内 rSO<sub>2</sub>(regional saturation of oxygen) のモニタリングに関する前向き多施設共同研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学総合医療センター・救急医学科 講師 氏名 早川 航一

《研究の目的》 心肺停止患者に対するできる限り長時間の連続した胸骨圧迫が、心拍再開率を改善させ、従来の方法で予期できない有害事象を生じないということ証明すること

《研究の方法》

●対象となる患者さん

救急医学科に来院時心肺停止で搬入された患者さんで、平成29年4月1日から平成31年3月31日の間に心肺蘇生を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、病歴、目撃の有無、Bystander CPRの有無、救急隊接触時初期心電図波形、病院前アドレナリン投与回数、病院前除細動の有無とその回数、来院前心拍再開の有無、来院時初期心電図波形、心肺停止の原因、心肺停止発症時間、救急隊時間経過、来院時間、来院後心拍再開の有無、来院後心拍再開時間、心肺停止時間、入院期間、入院後低体温療法の有無、来院24時間以内の冠動脈カテーテル検査の有無、体外循環の有無、心肺蘇生に伴う有害事象の有無、来院30日時点での生死、死亡日、生存退院日など

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

《利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学総合医療センター 救急医学科  
〒570-8507 守口市文園町 10 番 15 号  
救急医学科 医局 06-6993-9819 (直通)

担当医師 講師 早川 航一